

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 IHI 呉第二工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市昭和町2番1号

(3) 業種

3142 航空機用原動機製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和 5(2023) 年度を基準年度とし、令和 6(2024) 年度から令和 10(2028) 年度までの 5 年間とする。

3 計画の基本的な方向

IHIグループ環境基本方針

(環境管理体制の構築)

第1条 環境管理体制を構築し、具体的な目的・目標を設定して確実に実行・評価し、継続的改善を図る。

(環境法令の遵守)

第2条 環境関連法令・協定および関連業界の方針・計画を順守するとともに、必要に応じ自主管理基準を定めて運用し、環境管理の向上に努める。

(環境に配慮した製品の提供)

第3条 地球環境の負荷低減に貢献する製品・サービスを社会に提供する。

(事業活動における環境負荷低減)

第4条 IHIグループのすべての事業活動において環境保全および環境負荷低減に努める。

(環境教育)

第5条 環境教育を通じて、IHIグループ各社の役員、従業員、派遣社員等、業務に従事するすべての者の環境意識を高め、自らが環境問題に関心を持ち、行動できるようにする。

(情報開示)

第6条 地域社会との融和および地球環境の保全のために、社会活動への参加と情報開示およびコミュニケーションを積極的に行なう。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和 5(2023)年度	令和 5(2023)年度
二酸化炭素	11,751	11,751

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産個数生産個数

5)、削減率（%） 単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率（%）

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度 (2023) 年度		基準年度 (令和5 (2023) 年度)		削減目標 削減率 (d)	目標年度 (2028) 年度		目標年度 (令和10 (2028) 年度)	
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 数値 (c)	削減率 (d)		排出量 (e)	原単位 数値 (f)	原単位 数値 (g)	削減率 (h)
エネルギー起源CO ₂	11,751	15,731	0.75	5.3		11,163	15,731	0.71	
非エネルギー起源CO ₂				0.0					
メタン				0.0					
一酸化二窒素				0.0					
その他 温室効果ガス				0.0					
総排出量	11,751	15,731	0.75	5.3		11,163	15,731	0.71	
(原油換算k1) エネルギー 消費原単位	-	-	0.36	5.6		-	-	0.34	
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位を前年度から1%以上削減する。エネルギー消費原単位を前年度から1%以上削減する。								

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	都市ガスの使用量を2023年度から5%削減する。	1. 省エネ型熱源機器への更新 2. ボイラの台数制御の実施
2	電気使用量の削減	電気使用量を2023年度から5%削減する。	1. 省エネ型電気機器への更新 2. 高性能照明器具への更新 3. 休息時の消灯の徹底 4. アイドリングストップの実施
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギー使用量の削減	前年度から1%削減する。	1. 仕掛品、保留品の削減 2. 副資材、消耗品の削減
2	廃棄物排出量の削減	前年度から1%削減する。	1. ごみ出しマナーの改善, 分別の徹底 2. 廃切削水の削減
3	その他		1. 5S活動の実施 2. 工場周りの清掃 3. 環境関連の資格者の増員

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制

呉第二工場環境、省エネ部会組織図

環境管理責任者: 呉第二工場長



環境事務局: 事務局長 環境G課長, 事務局員 環境G課長代理



省エネ資源対策部会: 部会長 設備G課長

委員: 課長代理(設備), 課長(業務), 職長(シャフト), 職長(ディスク)
職長(FC), 職長(GT), 職長(品管), 課長(IJS), 職長(保全)

(2) 実施状況の点検・評価

省エネ部会を中心として、毎年温室効果ガスの取り組み状況の把握、点検および問題点の検討を行い、環境連絡会議において定期的に評価、見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

事務所に備え付けて閲覧する。